

～輝きの子育て～

新年度が始まります。どうぞ宜しく！

桜の花も美しく咲き終え、いよいよ胸はずむ新年度が始まります。今年は25名の新入園児をお迎えし4月2日（月）からのスタートです。3月には卒園生、お話がきちんと聞けるように成長した23名を送り出しました。又、小学校6年を卒業した多くの卒園生が挨拶に来てくれました。保育園時代の面影を残しながらも立派に成長した子供達に会え、思うことは、これから進む中学、高校・・・更なる彼等の進む道が充実した、日々幸せに満ちたものであることを願うばかりです。

保育園の各クラスでは、今まで使ったロッカー、引き出し、保育室をお友達皆が「ありがとう」の感謝の気持ちを込め、きれいに掃除をしてくれています。どのクラスも気持ち良く進級でき、新しいお友達をお迎え出来ると思います。

この「輝きの子育て」は園だよりにあわせ出させてもらっています。園長の父、片野英司、母片野英子が隔月で担当しています。

読んで頂ければ嬉しく思います。

片野 英子

あたりまえのこと

- 当り前のことが → できるようにする
- 『はい』と明るい返事は → 「挨拶」のはじまり
- 挨拶は話し合いの入口 → 心と心の通り道
- 『こんにちは』と笑顔でいう → やさしい心のあらわれ
- 素直に「おじぎ」をする → 相手を大切に作る心
- 返事、挨拶、礼儀は → みんなしつけである

このように「しつけ」ということは特別のことではなく、動物にならないように人間の道を歩いて成長させる当り前のことである。そして豊かな家庭環境が何よりも大事である。

こんな幼児に育てたい

どろんこ遊び 砂遊び 遊びは 何でも 大好きで
友だちが たくさんいて 虫や動物や 花が好き
時々けんかや ちょっぴり悪戯をして
いじめたり いじめられたりする
おかしい時には 大笑い 悲しい紙しばいや 童話の時は 涙ぐみ
叱られるとしゅんとなり ほめられると有頂天になって喜び
返事 挨拶 しつけの けじめだけは しっかりして
眼は きらきら輝いている
こんな子どもらしい 子どもに 育てたいものである

～ 高橋 系吾 氏 言より ～